

1. 広島大学マスタース第6回総会へのご案内

3月、東日本は大震災に見舞われました。地震、津波の自然災害に、福島原発事故が重なり、今なお受難の時がつづいています。犠牲になられた方々のご冥福を祈り、被害を受けた多くの方々に心からのお見舞いを申し上げます。その復旧、復興のためにも、私たちは以前にも増して気を引き締め、こころを広げて、生きてゆかねばなりません。その大事さを感じている毎日です。

さて花の季節も過ぎて、山野若葉が次第に色濃く染まる季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。広島大学では教員の定年延長があり、マスタース入会勧誘の対象となる方々が例年より少なくなりましたが、それでも嬉しいことに、幾人かの入会者がありました。その新しい仲間の歓迎会をも兼ねて、広島大学マスタース第6回総会を、下記の通り開催します。

第1部総会、第2部懇親会（歓迎会を含む）の、2部構成で行われます。ご多用中と存じますが、奮ってご参加ください。

広島大学マスタース第6回総会

日時 6月4日（土）

第1部 総会 16:00～17:00

場所 サンスクエア東広島3階会議室

（東広島市西条西本町28-6 Tel: 082-493-8181）

次第 代表幹事挨拶

顧問挨拶・浅原広島大学長 / 蔵田東広島市長（調整中）

22年度活動報告 / 22年度広報・IT活動報告

22年度会計報告

23年度事業計画

第2部 懇親会（新入会員歓迎会を兼ねる） 17:30～19:30

場所 水軍の郷（コラボスクエアの向かえ）

（東広島市西条岡町7-27 Tel: 082-431-4777）

会費 7,000円

同封の返信用ハガキで、出欠(5/27✕切)をご返事ください。

2. 広大マスタースのホームページが面白い

広大マスタースは設立6年を迎えて、さまざまな活動をしてきました。その活動を、できるかぎり迅速に、できるかぎり細大漏らさず、マスタースのホームページが記録してきました。マスタースには＜会員版＞と市民向け＜瓦版＞の2種類があり、それぞれに役割を果たしていますが、特に後者が多彩で内容も充実してきました。マスタースのこれまでの活動記録はもちろん、「マスタース通信」のバックナンバー、各種催しものの案内、市民講座のプログラムをはじめ、読みもの「学問の散歩道」等、各種記事が満載しています。ぜひ開いてみてください。

http://www.geocities.jp/hirodai_ob/index.html

3. 平和科目（広大教養教育科目）開設、マスターズが参加

広島大学では第2期中期計画の目玉の一つとして教養教育の充実をうたい、平成23年度から平和科目（選択必修、2単位）を開設しました。これにより学生（1学年約2500人）は卒業要件として同科目の単位取得が課されます。同科目は複数の授業群19種類、25科目から構成されています。広大マスターズはこの平和科目群に、東広島キャンパスで「平和と人間A」（前期）、「平和と人間B」（後期）計2科目を提供します。

なお、昨年8月発足したわがマスターズの同胞組織「広大マスターズ広島」も、東千田キャンパスで「平和と人間C」、「平和と人間D」を前後期に分けて計2コマを開講します。

従来も、定年退職後の元教員がその余人をもって代えがたい専門性をかわれて、個々に非常勤講師として出講してきました。だが、マスターズのような、学長が顧問に就任されているとはいえ、任意のOB組織が、教養教育科目の一つの科目の企画、実施、単位授与をまかされるということは、これからの大学教育のあり方を考える上で画期的なものだと考えます。

マスターズは、この他に広島大学が主催する外国人学生短期講習会（昨年度から開始）にも、参画、担当することになりました（本紙4頁参照）。

これにより、マスターズは、東広島市教育委員会と共催で、市民の生涯学習事業の一環として各種の市民講座や出前講座を開講する一方で、広島大学の教養教育や留学生教育にも参加してゆくことになり、今後の活動の道筋がはっきりしてきました。

なお、この科目は今年度がはじまりで、暗中模索のところがありましたので、金田晋、山本義雄両幹事がマスターズ幹事会で、講師の人選を含めて平和科目の構想準備をまかされ、立案に至りました。平和科目は今後ずっとつづくものなので、来年度以降会員の先生方全員の積極的な参加によって、一層充実してゆくことを願っています。

以下、平成23年度平和科目の概要を記します。

平成23年度平和科目「平和と人間A」（前期）と「平和と人間B」（後期）の趣旨

講師陣は広島大学名誉教授で構成。大学教育の現場から離れているが、なお学界等の第一線で活動する。その立場から、「平和」をより大局的にとらえ、オムニバスで講義する。

- 1) 私たちの原点は、人類最初の原爆投下によって都市壊滅した広島にある。だが平和を求める心は人類に共通し、普遍的である。
- 2) 産業革命によって、生産と消費、労働と生活、伝統と文化のシステムが大きく変化し、私たちは国家＝国民の枠の中に組み込まれる。今から200年以上前、「神なき時代の最初の哲学者」とよばれるカントは、**平和は人間が自ら創設されるもの**と説いた。

広島投下の原子爆弾とは何であったか。そこに生きた者の視点から被爆の実相と都市の破壊を考え、原子爆弾の構造、その威力等を知り、その後の核兵器の歴史と現実を考える。

「平和については、戦争の悲惨さを直視し、核廃絶を含む軍縮を展望する視点を育てる必要があることはいうまでもない。しかし、それ以外にも、＜貧困＞、＜飢餓＞、＜人口増加＞、＜環境＞、＜教育＞、＜文化＞など多様な観点から広く平和を捉え直してゆくことも必要です。」（『平和科目群設置の目的』より）

- 3) 「平和」を国際的レベルにおける共同意志にどう高めてゆくか、それを考えてゆきたい。

平和と人間A - 環境と生物の未来へ -

この科目は、主に自然科学系にウェイトをおく。人口増加、物質の偏在、食糧の不足、環境の劣化の諸困難にいかにか立ち向かうか。環境破壊の克服、新エネルギーの模索、バイオテクノロジー、感染と危機の管理、真の意味での生物多様性の社会を考える。

< 講義目次 >

- 第1講(4・11) ガイダンス 授業の狙い、講師紹介(金田晋・元総合科学部)
- 第2講(4・18) 平和と哲学 - カントと平和の哲学(金田晋・元総合科学部)
- 第3講(4・25) 広島投下の原子爆弾の威力とその後の核兵器の開発(松田正典・元総合科学部)
- 第4講(5・2) 広島で被爆して平和を考える(植木研介<広大マスターズ広島>・元文学研究科)
- 第5講(5・9) 近代産業と平和 英国資本主義とクェイカー教徒 - (友田卓爾・元総合科学部)
- 第6講(5・16) 地球環境の変貌(安藤忠男・元生物圏科学研究科)
- 第7講(5・23) 30年後の地球環境(安藤忠男・元生物圏科学研究科)
- 第8講(5・30) 生物多様性(山本義雄・元生物圏科学研究科)
- 第9講(6・6) 石油代替エネルギーと環境(鈴木寛一・元生物圏科学研究科)
- 第10講(6・13) 水産資源の国際問題(中川平介・元生物圏科学研究科)
- 第11講(6・20) バイオテクノロジーの歴史と最新技術(平田敏文・元理学研究科)
- 第12講(6・27) 次世代のバイオテクノロジー(平田敏文・元理学研究科)
- 第13講(7・4) 感染症と危機管理(松田治男・元生物圏科学研究科)
- 第14講(7・11) 平和と国際経済学(佐野進策・元経済学部)
- 第15講(7・25) 平和の哲学 現代の諸問題と哲学の視点(金田晋・元総合科学部)
- 第16講(8・1) 試験

平和と人間B - 人間と文化の未来へ -

この科目は主に倫理、文化、教育の方面にウェイトをおく。

近代科学と産業はめまぐるしく発達する一方で、科学、技術を使用する人間のモラル(倫理意識)が問われている。人びとは国家の論理に翻弄されながら自らの生き方を問い、相手国に住んでその苦難を経験し、なお平和の生活を望んだ。また芸術やスポーツを介して国境を超えて人びとの連帯をもとめてきた。

< 講義目次 >

- 第1講(10・3) ガイダンス、授業の狙い、講師紹介(金田晋・元総合科学部)
- 第2講(10・17) 平和と哲学 - カントと平和の哲学(金田晋・元総合科学部)
- 第3講(10・24) 広島投下の原子爆弾の威力とその後の核兵器の開発(松田正典・元総合科学部)
- 第4講(10・31) 広島で被爆して平和を考える(植木研介<広大マスターズ広島>・元文学研究科)
- 第5講(11・7) 近代産業と平和 英国資本主義とクェイカー教徒 - (友田卓爾・元総合科学部)
- 第6講(11・14) 環境から見た人類の生長とその限界(安藤忠男・元生物圏科学研究科)
- 第7講(11・21) バイオテクノロジーと食の安全(池上晋・元生物圏科学研究科)
- 第8講(11・28) バイオテクノロジーと生物多様性(池上晋・元生物圏科学研究科)
- 第9講(12・5) 戦争と倫理(水田英実・元文学研究科)
- 第10講(12・12) 戦争と人間 比治山に眠るフランス兵士の墓(原野昇・元文学研究科)
- 第11講(12・19) 戦争と人間 広島のアメリカ移民の歴史(山代宏道・元文学研究科)
- 第12講(12・26) 平和と美術(難波平人・元教育学研究科)
- 第13講(1・16) 平和とスポーツ 祭典とオリンピック(渡部和彦・元教育学研究科)
- 第14講(1・23) 平和と国際経済学(佐野進策・元経済学部)
- 第15講(1・30) 平和の哲学 現代の諸問題と哲学の視点(金田晋・元総合科学部)
- 第16講(2・6) 試験

4 . 冬期特別研修事業に参画しました

広島大学では、「2010年度広島大学冬期日本語・日本文化特別研修」が2月5日から18日まで行われました。この「研修」は日本の大学への留学を希望する外国の大学で日本語、日本文化を勉強している学生へ的一种のオープンキャンパスであります。優秀な学生に広島大学を留学先に選んでもらおうという企画です。昨夏、既に試行的に実施されています。その時には「日本語」、「日本文化論」に関する授業だけでしたが、冬期には新たに「日本事情」科目群が追加され、大学側からマスターズに担当することの要請がありました。幹事会では、このことはマスターズの設定趣旨にも適い、積極的に協力することにし、以下のプログラムを提案、実施されました。

内容は「日本文化論」1コマ、「日本事情」4コマです。

2月7日 <日本事情>井上宣邦(電気工学専攻)「暮らしなかの無線」

2月8日 <日本事情>有本章(大学論専攻)「日本の大学事情」

2月11日 <日本事情>安藤忠男(環境科学専攻)「日本の環境問題」

2月12日 <日本文化>西川恭治(物理学専攻、広島県かるた協会会長)「日本の文化と遊び
小倉百人一首かるた」

2月13日 <日本事情>黒川正流(社会心理学専攻)「リーダーシップと職場」

5 . 23年度6-7月はじまりの市民講座のご案内

平成23年度市民講座(主催:東広島市教育委員会生涯学習課、共催:広島大学マスターズ)がはじまります。ご参加を、またご近所の方、友人、知人の方に、宣伝をよろしくお願いします。

1)「はじめてのフランス語」(講師:原野 昇)

はじめてフランス語を学ぶ人を対象に、ビデオを利用しながら、簡単な日常会話と文法の基礎を学びます。

日時:6月13日、27日、7月11日、25日。いずれも13:30~15:00

会場:東広島市市民文化センター研修室(サンスクエア2階)

2)「身のまわりの化学」(講師:別記)

私たちが日常生活で出会う物質や身近な現象を取り上げて、次のテーマで最新の化学情報をわかりやすく紹介します。

日時:7月30日、8月6日、20日、27日。いずれも13:30~15:00

会場:東広島市市民文化センター研修室(サンスクエア2階)

第1回(7月30日)「**くらしの中の香り**」(講師:平田敏文)

第2回(8月6日)「**洗剤の話**」(講師:三吉克彦)

第3回(8月20日)「**生理活性天然物の話**」(講師:深宮齋彦)

第4回(8月27日)「**ひとと磁石**」(講師:谷本能文)

【広大マスターズ連絡先】

広島大学マスターズ事務局

〒739-0043 東広島市西条西本町28-6 サンスクエア東広島3F

広島大学サテライトオフィス内

Eメール: masters@hiroshima-u.ac.jp